



士別ロータリークラブ

創立 1960・3・24 RI第2500地区

Vol.21

No.2697

2019-2020年度国際ロータリーテーマ



2019-2020年度 国際ロータリー
会長 マーク・ダニエル・マローニー

RI HP <https://www.rotary.org/ja>

2500地区ホームページアドレス <http://rid2500.jp/>

2019-2020年度士別ロータリースローガン
地域に根ざそう奉仕の力で



士別河川防災ステーション (天塩川河川敷)
2005年会報から 画: 百瀬達夫元会員

- 例会場 / 士別グランドホテル
- 例会日 / 毎週月曜日 12:10~13:10
- 事務所 / 士別グランドホテル TEL 0165-23-1234
- 会長 / 近井孝義 ■ 副会長 / 谷 温恵
- 幹事 / 但木行久

士別ロータリークラブ HP <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>

今日のプログラム

第2781回例会

2020年1月6日(月)

・普通例会 ・理事会

前回(12月30日)の記録 ・普通例会

- ・司 会 伊藤優市 会場監督
- ・斉 唱 奉仕の理想
- ・本日の出席 会員:47人 出席者:36人 出席率:76.59% 修正:78.72%
- ・本日の欠席 江端健之、大橋直幸、国森和磨、近藤峯世、鈴木 勉、田中道也、奈良康弘、深尾幸夫、細川博司、前田孝幸、大江智宣

- ・メイクアップ
- ・ピジター
- ・ゲスト
- ・ニコニコBOX

累計 184,000円

例会予定

■ 1月例会【職業奉仕月間】

- 1月6日(月) 例会・理事会
- 1月13日(月) 休会(法定休日:成人の日)
- 1月20日(月) 例会
- 1月27日(月) 夜間例会

■ 2月例会【平和と紛争予防/紛争解決月間】

- 2月3日(月) 例会・理事会
- 2月10日(月) 例会
- 2月17日(月) 夜間例会
- 2月24日(月) 休会(天皇誕生日)

■ 会務報告

近井孝義会長

●2019～2020上期の最後の例会となります。この6カ月間長かった様な短かった様な感じです。

●次年度の理事役員も決定し、3月8日PETS、4月19日地区研修協議会と日程が発表され、次年度の始動もまもなくの様です。例年ですとファミリーパーティーが終わると80%終了感があると思っておりましたが、60周年事業を考えるとまだまだ半分以上残っているようです。あと6カ月皆さんの協力をお願いいたします。

●今日は、音の出る信号機について、話したいと思います。12月24日正午より12月25日正午までSTVラジオでチャリティー・ミュージックソン2019で目の不自由な方へ音の出る信号機を贈るラジオ番組があります。皆さんも何度も音を聞いた事はあると思いますが、カッコーとピヨピヨ、または通りゃんせと故郷の空の組み合わせが多い様です。カッコー・通りゃんせは、一般的に主道路横断用に使われている様です。また夜間は音が流れなくなっている様です。

士別市内にも音の出る信号機が何台も設置されていますが、音の意味などを考える機会になればと思ってお話しさせていただきました。以上で会務報告を

終わります。

■ 幹事報告

但木行久幹事

1) 2020年度士別青年会議所より、【新年交礼会】の案内が会長宛で来ております。1月13日、午後6時より士別グランドホテルにて開催されます。

2) 本日は、上期最終例会となっております。

年明けの第1例会は1月6日となっておりますので、宜しくお願いします。

又、例会終了後、理事会も開催致しますので、理事・役員の方は御出席を、お願いします。

■ 委員会報告

●菊地昭通・米山奨学委員長＝9月は識字率向上月間ということで使用済み切手、書き損じハガキ、フルタフを集めていましたが、まだ量が少ないため期間を来年4月まで延長いたします。ご協力、よろしくお願い致します。

●菊地 仁財団・米山奨学委員長＝みな様のご協力により100%PHFクラスが達成し、このほどその認証のバナーが届きました。ご披露申し上げます。

また当会の名前入りの盾が米国イリノイ州のエバンストンにある財団本部に恒久的に飾られるとのこと。

素晴らしいバナーが届いたことと合わせ報告します。たいへんありがとうございました。



当クラブに届いた100%ポール・ハリス・フェロークラブ達成のバナー

100パーセント・ポール・ハリス・フェロー・クラブ (100% Paul Harris Fellow Club) : ポール・ハリス・フェローとは、ロータリー財団に1,000米ドル以上の寄付をした人、または名義人を称える認証。さらに全会員がポール・ハリス・フェローになったクラブには特別のバナーが贈られる。また、クラブ名が刻まれた盾がRI世界本部に恒久的に展示されることになる。

ポール・ハリス・フェローの認証は、1957年、当時唯一の財団プログラムであり、国際親善奨学金の前身となった「Rotary Foundation Fellowships for Advanced Study (高等教育のためのロータリー財団フェローシップ)」への寄付に対する謝意を示し、さらなる支援を向上させるために設立された。